

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛驒吉城特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年11月9日(木) 10:00~12:00
- 3 開催場所 飛驒吉城特別支援学校 図書室  
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	中谷 英子	当校 PTA 会長
副 会 長	奈木 桂子	福祉事業所ピース代表 (欠席)
委 員	吉村 正彦	殿町19区区長
	中村 泰己	青龍会会長 (欠席)
	中切 智子	地域生活安心センター担当課長
	蓑輪 一幸	創立10周年記念事業実行委員会会長
	下出 尚弘	古川小学校校長 (欠席)
	柚原 誠	神東会理事長
オブザーバー	沖畑 康子	飛驒市教育委員会教育長 (欠席)
学 校 側	太田 浩司	校長
	北川 貴美	教頭
	大乘坊 健	事務長
	道下 亜紀子	小・中学部部主事
	西垣 光洋	高等部部主事
	中田 健太	教務主任

### 5 会議の概要 (協議事項)

#### (1) 学校評価 (外部評価) 集計結果について

意見1: 学校の児童生徒の中で、不登校になっている児童生徒はいるのか。

⇒体調不良で休みがちな生徒はいるが、体調に応じて登校している。高等部入学当初は、遅刻や休みが多い生徒も2年、3年と年を重ねると休まずに学校に来られるようになってきている。

意見2: 否定的な意見もあるが、保護者が教職員に積極的に意見が言える雰囲気ができるとうい。

意見3: アンケートは、保護者と運営委員が同じアンケート結果で表示されているが、運営委員は、学校の様子で分からないこともあり、そのことがアンケートに反映されてしまうのは申し訳ない。別々の表示でよいのではないか。

⇒来年度、アンケートの集計方法を検討する。

意見4: 自宅で生活しているとその家族の生活ペースに慣れているので、入所すると生活ペースが大きく変わる。変化に対応するためには時間がかかってしまう。早い段階からグループホーム等の体験利用ができるとよい。

⇒中学部の生徒一人、グループホームの体験をした。今後、他の児童生徒も在学中に体験できる機会を設けられるとうい。

(2) 高等部作業学習の新製品価格について  
適正な価格であると承認された。

(3) 授業参観

(4) テーマに応じた各部の取組

(5) 意見交換会

・テーマ：地域の多様な学びの場を柔軟に活用できる「新たな学びのスタイル」作りに取り組む

①「地域、関係諸機関と連携して交流活動等の在り方」

②「学校周辺の方法（発信について）」

グループ1

意見1：殿町青龍会との交流は創立以来継続できているのですごくよい。今後も継続してほしい。

意見2：いろいろな交流ができておりよい。小学校の登校時に挨拶運動に参加したらどうか。日常的な活動に自然に参加するとよいのではないか。

意見3：交流後、相手方の反応はどんなものか。  
⇒同級生との再会や同年代と触れ合うよい機会になった。お互いのことを知ることができてよかった。

意見4：卒業後の進路については、地域にある施設や事業所を利用してほしい。支援していきたい。企業へのPRを進めることや行政主催の説明会などがあるとよい。個々のPRの仕方を考えることも大切であり必要である。

意見5：地域に出ていき、児童生徒の姿を見てもらおうとよい。

意見6：古川町での取組や情報発信はよいが、神岡町、河合町、宮川町などでの取組や情報発信があまりない。古川町以外でのPR活動を増やしていくことも必要ではないか。

意見7：卒業後の進路を見据え、行事等の案内を企業にも送付していくことも必要。

意見8：地道な取組が大切である。

グループ2

意見1：地域との交流については、古川町が中心になっているため、神岡町にも広げられるとよい。飛騨神岡高校の学校祭を見学したり、神岡町の図書館等の施設を利用したりするのはどうか。

意見2：将来を見据えてB型事業所等とつながるような交流ができるとよい。

意見3：卒業生との交流という面からでは、同窓会の開催はどのようになっているのか。同窓生同士の交流から、卒業後の生活について等の情報発信になるのではないか。

⇒同窓会の運営については、意見が二極化しており、現在、規約を見直しているところである。

意見4：ホームページの更新や新たに取組んだ日下部民藝館での作品展はよい取組である。

意見5：情報発信の方法に詳しい人がいれば、周知の方法も広がるのではないか。

意見6：以前、当校の体育館を借りて、休日に活動をしていたことがあるが、借用の手続きに手間取った。もう少し、簡単に手続きができるようになると、学校にいろいろな人が集まって活動ができ、学校周知にもつながるのではないか。

意見7：ホームページに掲載されている写真や写真展の写真は、教職員が子どもたちを撮影したものがほとんどであるが、子どもたちが撮影した写真をあげるのはどうか。校外学習で飛騨市内の各地へ出かけた時に撮ったものなど、特別支援学校の児童生徒ならではの視点や感性が表現され、また、飛騨市の各地のアピールにもなるのではないか。

⇒日下部民藝館での写真展では、これまで教職員が行ってきたセッティングを高等部生徒が行った。また、高等部の修学旅行では、生徒一人一人がスマートフォンで写真を撮影した。このような試みを増やしていけるとよい。

(6) その他

- ・第3回学校運営委員会は令和6年1月25日を予定。

6 会議のまとめ

- ・第2回学校運営委員会において、学校評価内容を確認。評価されたことを今後の教育方針等に生かしていく。
- ・高等部作業製品価格について、全委員より適正価格であると承認を得られた。
- ・グループで話し合った内容については、今後、学校で実践できることを検討し、行っていく。また、実践した結果を第3回の学校運営協議会で報告し、来年度も検討を継続する。